

(4) わたしたちの住む三島町

三島町は、福島県の西部にあります。

まわりを山にかこまれた200～500mの高さのせまい平地に、人々が住んでいる山村です。

西から東に只見川がながれていて、そこに大谷川はじめ多くの川が流れこんでいます。その川をつくった平らな土地に、人びとが住んでいます。

北日本にあるために、気候は寒く、雪が1メートルをこし、長い間消えません。

広さはやく90平方キロメートルありますが、山林原野が86パーセントをしめ、田畑はわずかです。

交通は、国道252号線が只見川にそって宮下を通り、国道400号線が西方を通っています。

その他の多くの地区は、県道ぞいにあります。

JR東日本の鉄道が只見川にそって通っています。

町えいバスが地区と町の中心地を運行しています。

人口は2,883人の小さな町です。(平成2年国勢調査)

小学生は181人、中学生は101人です。(平成3年4月)

昭和25年ごろに発電所工事で一時きふえたこともありますが、人口は少しずつへっています。

また老人が多いのもとくちょうです。

三島町は、昭和30年7月20日に、元の宮下村と西方村が合わさって発足^{はつそく}しました。